

二戸地区広域行政事務組合広報

# こういき

N i n o h e K o u i k i



02 ..... 特集

**みんなで考えよう!**  
**二戸こういきの『ごみ』**  
二戸地区クリーンセンター

06 ..... 安心・安全なまちを目指して  
二戸広域消防本部、二戸消防署・分署

08 ..... 成年後見制度って何?  
始まっています! 健康づくりと介護予防  
介護保険推進室

10 ..... データ&グラフ [平成24年度決算のお知らせ]

12 ..... 災害伝言ダイヤル  
AED設置施設一覧  
し尿処理収集委託業者





# みんなで考えよう! 二戸こういきの『ごみ』

## 二戸地区クリーンセンター

私たちの暮らしの中から出る、さまざまなごみ。近年はリサイクル法の施行によりごみの減量化やリサイクルに取り組む団体や活動などが増えており、その効果も表れ始めています。ここ二戸広域でもわずかながらごみの量は減ってきていますが、まだまだ十分とはいえません。ごみを減らすことは、自然や地域の環境を守りエネルギーの無駄遣いをなくすことにも繋がります。まずは、ごみの種類や特徴などを知り、今より少なくする工夫やリサイクルのアイデアなど、暮らしの中で出来ることから始めてみましょう。



# こんなにかかる！ ごみの処理費用は 一人あたり約5千円

「3億8千万円」

これは平成24年度に二戸市・一戸町・軽米町・九戸村から持ち込まれたごみを、二戸地区クリーンセンターで処理するのにかかった費用です。私たちが「捨てたもの」に、一年間で3億円もお金がかかっているのです。

クリーンセンターで処理したごみの総量(24年度)は1万9千トン。そのおよそ8割が燃えるごみで、処理費用も2億7千万円にもなっています。次いで資源ごみ、粗大ごみ、不燃ごみ、産業廃棄物となり、これらの処理には1億1千万円かかっています。処理にかかる費用は、持ち込んだごみの重さで4市町村が負担しています。持ち込むごみが多ければ、それだけ市町村の支出が多くなります。下の表を見ると、それぞれの市町村民一人あたりの負担額がわかります。

二戸広域全体で考えてみましょう。総人口(平成25年2月1日現在で約6万人)で計算してみると、一人あたりの年間処理費用は6380円にもなり

表1.ごみの処理費用と負担金

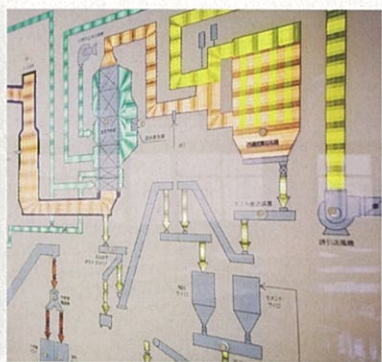
経費		負担金等		一人当たりの負担額	
ごみ焼却費	2億7千万円	●二戸市	1億7千3百万円		<b>5,828円</b>
粗大ごみ処理費	1億1千万円	●一戸町	7千万円		<b>5,017円</b>
計	3億8千万円	●軽米町	4千6百万円		<b>4,451円</b>
		●九戸村	3千3百万円		<b>5,231円</b>

可燃ごみ	粗大ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	産業廃棄物
15,473トン	747トン	492トン	2,315トン	48トン

ます。このうち5340円は、みなさんの税金などで負担していることとなります。ごみ処理にかかる費用を、大人から子どもまで1人約5千円とすれば、4人家族で年間2万円を超える負担になります。

「捨てること」にお金をかける



のは「もったいない」ことです。私たちの生活を豊かにする環境施策などにあてたいと、だれもが思うことです。そのためには、「捨てる時」に少し意識してみることが大切ではないでしょうか。次のページに、私たちができるアクションをご紹介します。ごみを減らすことで、費用を減らすことができ、もっとすてきなカシオペア連邦になっていくはずですよ。

ごみを意識することは、私たちができる「小さな行政参加」といえます。



# 処理力は1日合計90トン 二戸地区クリーンセンター

二戸広域の事業所や家庭から出るごみを処理する「二戸地区クリーンセンター」。ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設からなり、ごみ焼却は1日60トン(16時間稼働)、粗大ごみは1日30トン(5時間稼働)の処理能力を有しています。

固めて埋め立て処理に、発生した高熱のガスは冷やされたのち有害ガス除去装置とろ過式集じん機を通し、完全無害化されたガスを煙突から放出しています。

粗大ごみ・不燃ごみは、それぞれの投入口からコンベアを通して破砕機にかけられ、人の手で処理できないものやアルミなどを選別したのち磁選機を通し、鉄やアルミなどの有効資源を回収しています。

収集車で運ばれたごみは巨大なごみピットに投入され、クレーンによってごみ搬送装置に送られます。焼却炉は、高温に熱した砂でごみを燃やす「流動床式」と呼ばれる方式で、完全燃焼の度合いがより高いとされています。

投入されたごみは800℃、850度の高温でまたたくまに焼却され、ばいじんはセメントで

平成24年度には、東日本大震災で発生した洋野町のがれき受け入れを実施。年間約330トンの震災がれきの処理を行い、県や国の取り組みが広域処理政策に貢献しました。

**ワンポイントアドバイス**

ごみを出す前に

**1 生ごみの水気の切り方**

生ごみの悪臭や腐敗の原因は水分。野菜の皮などは水分のある生ごみとは別にして、ザルなどに入れておきます。新聞紙の上などにおいて乾燥させればベストです。生ごみ受けには穴の空いた専用の袋やネットなどを利用。ぎゅつと絞るようにして、水分を出してから捨てるようにします。また、水が溜まる卵の殻などは小さく砕いて捨てます。新聞紙を敷いた上に生ごみを置いて水分を吸わせ、ビニール袋に入れて捨ててもいいでしょう。



# ごみの特徴や傾向を知り 減量化やリサイクルに 役立てましょう

平成7年7月の二戸地区ク  
リーンセンター完成以来、二戸  
広域のごみ量の変化は図1のよ  
うになっています。

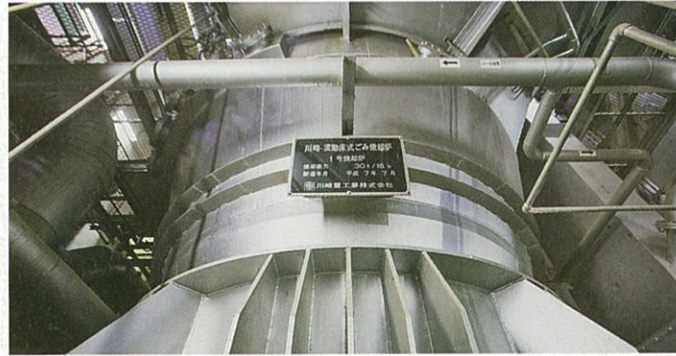
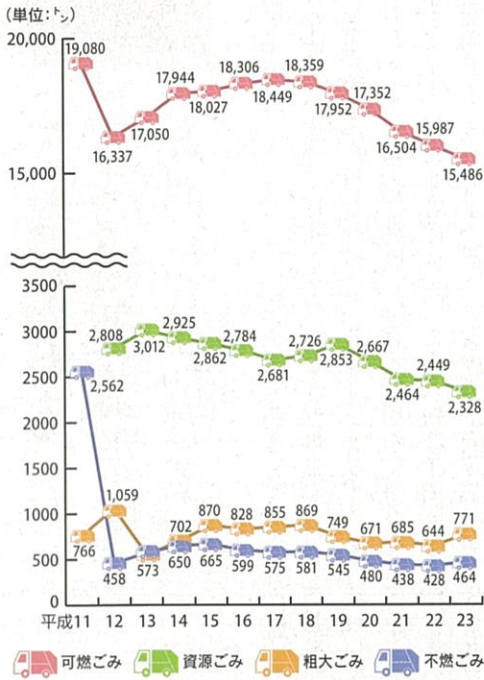
平成12年度は資源ごみの分別  
回収がスタートし可燃ごみ・不燃  
ごみとも減少しましたが、翌年は

廃棄物処理法の改正で野外焼  
却が禁止されたことを受けて増  
加。以後、平成17年から18年度を  
ピークに増え続けるも、20年度以  
降は減少傾向にあります。これは  
市町村による減量化への取り組み  
が徐々に現れはじめた証拠です。  
クリーンセンターでは年に4回、

ごみの質を調査しています。種類  
別に見ると、紙・布類が43%、ビ  
ニール・ゴム類が27%、いわゆる生  
ごみの厨芥類が17%と、可燃ご  
みだけで総量のおよそ8割を占  
めています(平成24年度)。

注目すべきは、ごみの3成分  
「水分」「灰分」「可燃分」のう  
ち、水分が48%と半分近く占め  
ている点。焼却の目的の一つは、  
水分を飛ばしてごみの重さや容  
量を小さく軽くすることなの  
で、あらかじめごみの水分を少な  
くして持ち込めば大きな減量化  
につながります。

図1.ごみ処理量の推移



## 今すぐできる アクション!!

### ① ごみを少なくする

ものを大切にすると、使い終  
わつたものでも再利用するな  
ど、「もったいない」という気  
持ちを持ちましょう。新しく  
買うときは長持ちするもの  
を選び、過剰包装は遠慮し  
てエコバッグを活用するのも  
効果的。断捨離など「多く  
を持たない」ライフスタイルも  
見直されています。



また農村地帯や山間部の  
多い二戸広域の特徴を生か  
し、生ごみ処理にはコンポスト  
を利用したり、草や木の枝、  
稲わらなどは堆肥として畑  
に返すのも一案です。

### ② ごみを資源に変える

ごみの半分近くを占める  
紙・布類の中には、新聞紙や  
ダンボールなどリサイクルでき  
るものが多数あります。また  
空き缶やペットボトル、ガラ  
ス瓶などは回収後にまとめて  
売却されており、平成24年度  
には合計約3千万円もの収  
入がありました。これらは、  
市町村のごみ処理負担金の  
軽減に役立っています。

軽米町では平成25年8月  
から、着なくなった衣類を回  
収する「までこボックス」を町  
役場入口ほか町内10カ所に  
設置。9月の第1回目の回  
収から合計1000トンを超



までこボックス



# 生ごみのリサイクル事業で生まれた、減量への意識

## わたしの実践



コンポスト



一戸町の野田坂町内会では、全世帯が生ごみと燃えるごみを分別して出すという町の実証事業に協力しました。町内のごみステーションには生ごみ専用のポリバケツが置かれ、収集された生ごみは発酵処理を



野田 真理子さん

して堆肥にし、農家のトマトやイチゴ栽培に利用されました。



その活動に参加した野田坂真理子さんは、クリーンセンターの見学やリサイクル堆肥を利用する農家のハウスも見学。処理の仕方のごみの量が確実に減ることを実感した今では「土に戻るものは戻した方がいい」と、生ごみの水切りを率先して続けています。

同じ町内の間垣教子さんは、調理の際に出る野菜の切りくずをザルに入れて天日で乾燥、カラカラになった野菜くずと土、そして発酵促進剤と一緒にコンポストに入れていきます。「できるだけ乾燥した土を使うことと、土をまんべんなくかけるのがコツ。野菜の固い部分や魚くずは、そのまま畑に入れていきます」と間垣さん。出来た堆肥は年間30kgほどになり、とてもいい肥料になっているそうです。



間垣 教子さん

ごみを出す前に

### ワンポイントアドバイス

#### その2 料理づくりにひと工夫を

食材は必要な分だけ購入して、無駄なく使い切るようにしましょう。そして野菜は可能なら皮付きのまま使用すれば、栄養成分も無駄にすることがありません。また、作った料理は残さず食べるようにし、余った場合は小分けをして冷凍保存に。解凍したら味付けを変えて食べるなどのリメイク料理に利用して、食べ切るようにしましょう。



可燃ごみの中で最も水分を多く含むのが生ごみ（厨芥類）。水分は悪臭の元になるだけでなく、重量を増やして処理費用を高くする要因に。水分によって焼却炉の温度が下がればダイオキシンなどの有害物質が発生しやすくなるため、重油の助けを借りて炉温を上げる必要がでてくるのです。さらに水分は炉などの設備にも負担をか

#### 3 生ごみの水分を減らす

える量が回収され、町では影響の大きさに驚くとともにごみ減量化への大きな手応えを感じています。



けるので、多額の修理費用が必要になります。生ごみの水分を減らす方法はそんなに難しくありません。コラムを参考に、できるところから実践してみてください。



# 安心・安全なまちを目指して

自然災害や火災、交通事故などはいつ発生するかわかりません。みなさんの大切な命や財産を守るため、二戸消防本部では365日・24時間態勢で出動体制を整えています。

二戸地区の消防・防災業務を一手に引き受ける消防署は、二戸市に置かれた消防本部・消防署を中核に、一戸町、軽米町、二戸市浄法寺町、九戸村の4地区に分署を配置、総勢112名の消防職員が24時間態勢で地域の安全を見守っています。

このたび消防本部では、高度化・複雑化する災害や救急のニーズに対応すべく、本部はじめ分署に配備されている車両の更新を行いました。



軽米分署に配備された災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車

**二戸広域消防本部 / 二戸消防署・分署**  
**本署と4分署がタッグ**  
**地域の人命と財産を守る！**

高度化する災害への対応  
 最新車両で任務に臨む

二戸消防署に配備されたのは救助工作車。従来に比べ車両ベースが拡大(中型車→大型車)し、最新の救助資器材の他に特殊災害に対応する高度救助資器材や夜間LED照明などさまざまな資器材が配備されています。

軽米分署には、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車が登場。タンク(水槽)の容量が従来の1500リットルから2000リットルに増え、放水時間の延長が可能になりました。

エンジンカッターなどの資器材も搭載し、災害や事故などの救助でも活躍します。

一戸分署に配備された高規格救急車は、まるで処置室のような設備。立つて作業できる広さを確保し、小児に対応したAEDを新たに導入し、自動式心臓マッサージ器を更新。いち早く正確な心電図を転送するためのタブレット端末も県内で初めて導入

高規格救急車(一戸分署)



救助工作車(二戸消防署)





一戸分署に配備された高規格救急車の内部

## 皆の思いをひとつにして 救命率向上を図ります。

二戸消防本部消防司令補

小船 浩幸さん・千葉 一徳さん

救急救命士は、本来は医師にしか許されていない高度な医療行為の一部(救急救命処置)を、医師の指示で実施することができます。そのために、常に病院の医師と連絡を取れる体制が必要です。

現場では時間が切迫する中で、処置を優先するか、搬送を急ぐかで悩むこともあり、自分ではベストを尽くしても結果を伴わないこともあります。

現在では、二戸管内の医師を中心として組織されている「二戸地域メディカルコントロール協議会」が、救急隊の活動や処置に対して指導や助言を実施。定期的に医師による検証を受け、それぞれの隊員にフィードバックされ、救急救命士を含んだ救急隊員のレベルアップや救命率向上に役立っています。

医療機関が少なく、搬送時間も長い二戸地域で、いかに搬送者の苦痛を軽減できるかが救命士のテーマ。「助けたい」ただ一つの思いで、現場へ向かっています。

### 救命講習会

訓練人形を使っ  
ての胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの使い方などを体験しながら学びます。管内の事業所や学校でで行われる個人向けの救命講習のほか、各事業所での指導者育成を目的とした講習を実施。以前は「わかりにくい」「難しい」というイメージだった心肺蘇生法は、実態に合わせて改善され、誰もが理解し実践しやすい内容になっています。



### 火災・救急出動件数(1月~12月)の比較

		二戸(うち旧浄法寺町)	一戸町	軽米町	九戸村	合計
火災	H24年	12(5)	10	3	4	29
	H9年	8(0)	5	4	6	23
救急	H24年	1308(355)	634	404	310	2,656
	H9年	769(187)	405	316	241	1,731

15年間で救急出動件数が900件以上も増えています。

救急救命士は、医師の指示のもと高度な救命処置をほどこす応急処置のスペシャリスト。二

### より多くの命を救うため 高まる救急救命士の役割

されました。さらに一戸分署の救急車は緊急援助隊に登録されているため、広く情報収集を行うために通信機能を有するノートPCも整備されています。広域管内で一番管轄エリアの広い一戸分署では、搬送中にいかに有効処置を行うかが重要であり、救急救命士の小船司さんも「機器を十分に活用し、より良い救急活動を目指します」と、任務にあたっています。

戸消防本部には現在、23名の救急救命士がいます。彼らの役割は、致命的な不整脈の人に對する除細動、器具を使った気道確保、点滴の処置などの高度な救命処置。「救命救急へのニーズの

高まりとともに、我々ができる処置が広がってきています」と、二戸消防署の小船浩幸消防司令補は話します。二戸管内で発生する心肺停止などの緊急の案件は年間およそ100件にも及



二戸消防署に配備された救助工作車

び、平成18年度には心拍再開のための薬剤投与ができる認定救命士も誕生しました。  
しかし救急隊が現場に到着するまでの時間は約5分(全国平均)。この間に心肺停止状態の人間は、酸素欠乏により死に至る可能性があるのです。二戸消防本部では、みなさんに心肺蘇生法(人工呼吸と胸骨圧迫)を習得してもらうため、町内会や職場を対象とした講習を行っており、年間約1500人の受講者があります。  
現在、管内には約100カ所ので自治体や民間企業によるAEDが設置されています。いざという時に大切な命を救えるよう、ぜひ救命講習会へ参加しましょう。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(軽米分署)



# 成年後見制度って何？

住み慣れた場所で自立した暮らしを送りたい。誰もが思いますが、さまざまな事情でそれが難しくなることもあります。そんな時、みなさんとその家族を支えてくれるのが「成年後見制度」。二戸地域では福祉関係者が中心となって、制度への理解を深める取り組みが始まっています。

## 暮らしの不安から守る 成年後見制度

高齢化の進展や社会制度の変化にともない、日々の暮らしに不安を抱く人は少なくありません。特に、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が不十分になった場合、不動産や預貯金などの財産管理をはじめ、介護や福祉サービスを利 dụngするための手続きや契約を結ぶのさえ難しいことがあります。また、最近社会問題にもなっている振り込め詐欺や訪問販売など悪質商法の被害にいう心配もあります。成年後見制度は、このようなおそれや心配のある人を保護し、支援する制度です。

## 今の心配、将来の不安 状況に応じて選べます

制度には「法定後見制度」と「任意後見制度」の2つがあります。

法定後見制度は、現在すでに認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が充分ではない人が対象。本人の判断能力の程度に応じ、「後見」「保佐」「補助」の3つの制度にわかれます。一方の任意後見制度は、現在には十分な判断能力があるものの、将来、認知症などになった場合に備えて、あらかじめ誰にどのような支援をしてもらうかを契約しておく制度です。

成年後見人は家庭裁判所が選任し、配偶者や親族、法律や福祉の専門家のほか社会福祉協議会や成年後見センター、リールサポートなどの法人等が選ばれます。また、複数の成年後見人が選ばれることもあります。制度を利用するには、家庭裁判所への申し立てが必要になります。まずはお住まいの市町村の担当課や地域包括支援センターへ相談してください。



## ありませんか？ たとえば「こんなとき」...

※後見人は「成年後見人」「保佐人」「補助人」の総称です。



**Q** 一人暮らしの母親(80歳)が軽度の認知症と判断されました。訪問販売や振り込め詐欺などの悪質商法にだまされないか心配なのですが。

**A** 成年後見人等に与えられた権限によって、本人が成年後見人等の同意を得ないで結んだ契約は取り消すこともできますので、悪質商法のトラブルを防ぐことができます。

**Q** 最近物忘れがひどく、預貯金の出し入れなど金銭管理に自信がありません。また、けがや病気で入院することになったり、介護が必要になったときの手続きも一人でできるか不安です。

**A** 本人に代わって、成年後見人等が預貯金や不動産などの財産の管理、介護サービスなどの利用時の手続きや契約などをサポートしていきます。

**Q** 私(61歳)は現在一人暮らしです。将来、認知症になったらなどと考えると不安になります。元気なうちに誰か、信頼できる人に将来の財産管理を頼みたいのですが。

**A** 認知症などで判断能力が不十分になったときに備え、財産管理などの法律行為を本人に代わって行う人(任意後見人)をあらかじめ決めておくことができます。

**Q** すでに成人した娘には、知的障がいがあります。親の私たちが高齢になって世話ができなくなったら、と心配です。

**A** 成年後見人等には、親族以外にも法律や福祉の専門家個人のほか、社会福祉協議会等の法人が選任されることがあります。※利用者本人が未成年の場合は、未成年後見人の制度があります。

※カシオペア権利擁護支援センター発行「わかりやすい成年後見制度」より抜粋





# 専門家がタッグを組み 成年後見制度を考える

## カシオペア権利擁護支援センターの活動から

平成12年、介護保険法とともにスタートした成年後見制度。しかし制度への理解不足や申請手続きの面倒などから、まだまだ利用されていません。「カシオペア権利擁護支援センター」は、制度を知ってもらうための啓発活動と利用しやすい仕組みづくりを目指して誕生したNPO法人です。

「私たちを取り巻く社会は、

高齢化の進展やひとり暮らし高齢者及び認知症の高齢者が増加しています。また、障害分野においても地域生活への移行や知的障がい者の親亡き後の不安など様々な心配が存在します。このような背景からも成年後見制度へのニーズは今後ますます増大することが考えられます。そう話すのは、支援センターの小野寺幸司さん。二戸市社会福祉協議会の事務局長として、

様々な事例を見てきました。

支援センターの前進は、平成20年度に自主的に発足した「カシオペア権利擁護等事業推進委員会」。二戸管内の福祉、行政、司法などの専門職が一緒になり成年後見が必要と思われる事例の検討や啓発活動などに取り組んできました。その中から権利擁護を推進するための課題として、制度の理解と相談支援の必要性などが明らかになりました。

「いきなり家庭裁判所には行きづらいし、既存の相談窓口では1箇所の機関では解決が困難である。相談に対応し支援につながるための仕組みが必要と、NPO法人を立ち上げました」と、支援センターの佐藤慶之さんは話します。活動メンバーの構成は、弁護士や司法書士など司法の専門家、高齢者や障がい者などの支援にあたる相談窓口やサービス事業所職員など福祉関係者、また県、広域、管内市

町村福祉担当者など様々な専門職がネットワークを活かしながら5年目で支援センターの設立となりました。このような他職種との連携により発足する権利擁護センターの立ち上げは県内でも唯一で、非常にめずらしいと言えます。

支援センターでは今後、住民や関係機関からの相談及び申立支援などに対応すること、多くの人に制度利用は特別な



「カシオペア介護予防活動実践地区サミット会議」の様子



ことではなく誰にでも関連する身近なものとして知っていただくため啓発活動に取り組みます。他にも他職種連携の強みを活かした事例検討にも重点をおいてどんな状態にあってもその人の権利が守られる地域を目指して活動を進めます。

啓発活動のひとつとして昨年12月6日に九戸村を会場に行われた「カシオペア介護予防活動実践地区サミット会議」では、地域において住民交流や介護予防を目的として「地域サロン活動」に取り組みされている方々に対して制度理解を図りました。

制度の活用は、その人がその人らしい生活を送る中での不便さ、特に権利に関わる部分を支援するものです。関連する社会資源が十分にあるとはいえないこの二戸地域において、「ここに相談すれば何とかなる」と思ってもらえるような支援センターを目指していきたいと、メンバーは口を揃えます。

## 始まっています！ 健康づくりと介護予防

二戸地区広域行政事務組合が掲げる地域福祉のテーマは「高齢者がいつまでもいきいきと暮らせる安心な地域」です。そのためにも高齢化率が30%を超える当地区では、すでに支援や介護を受けている方ももちろん元気で暮らしている高齢者にも寄り添い、健康づくりや介護予防に取り組みなくてはなりません。

平成18年度から当組合と岩手県立大が連携して実施した「いきいき健康教室」や「転倒予防教室」は今、各地域の町内会や自治会などが中心となった自主活動へと進化しています。いずれの教室でも体操や運動ほか、専門家のお話や地域の課題を話し合う時間を設けられていたため住民同士の交流が生まれました。その中から自主活動グループが生まれ、事業の終了後も続いているのです。当組合では活動をサポートすべく助成金を交付していますが、申請は年々増えています。

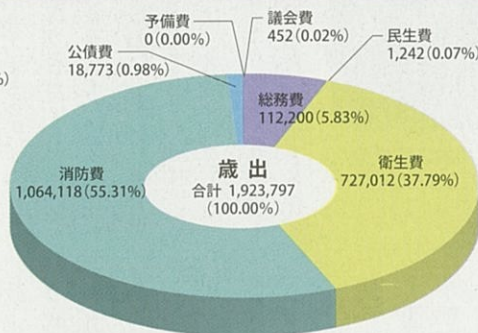
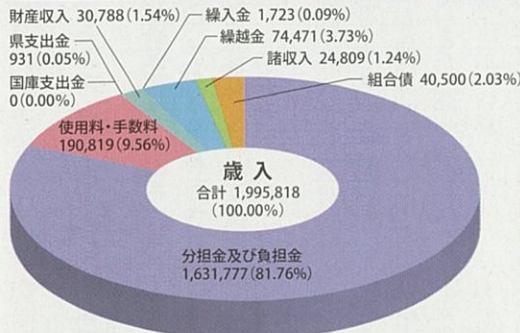
あなたの暮らし地域でも、健康教室が開かれているかもしれません。介護予防に仲間づくりに、気軽に参加してみませんか。

左より、相談員の小野寺幸葉さん、常務理事の佐藤慶之さん、当組合介護保険推進室の泉山收正さん、理事の小野寺幸司さん、相談員の小笠原麻美さん

## 24年度決算

(単位：千円、%)

### 一般会計



- 議会費 議会関係の経費
- 総務費 事務局関係の経費
- 民生費 介護サービス利用者対策の経費
- 衛生費 し尿及びごみ処理の経費
- 消防費 消防及び救急業務の経費
- 公債費 組合債で借りたお金の返済費

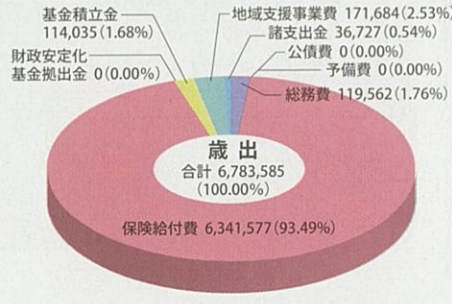
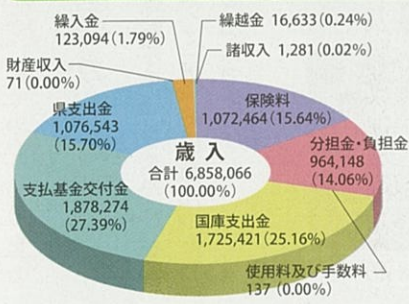
### ■歳出の性質別内訳

人件費	987,442 (51.33%)	● 人件費	職員等の報酬・給料などの経費
物件費	723,566 (37.61%)	● 物件費	業務運営のために通常かかる経費
維持補修費	10,922 (0.57%)	● 維持補修費	施設設備の維持管理のための経費
扶助費	11,470 (0.60%)	● 扶助費	職員へ支給された児童手当
補助費	83,385 (4.33%)	● 補助費	他団体への補助金・負担金や市町村への還付金
普通建設事業費	88,237 (4.59%)	● 普通建設事業費	大規模な建設・改修工事費や高額な設備購入費など
災害復旧費	0 (0.00%)	● 災害復旧費	災害により被害を受けた設備補修費
公債費	18,773 (0.97%)	● 公債費	組合債で借りた資金の返済費
積立金	2 (0.00%)	● 積立金	基金への積立金
<b>合計</b>	<b>1,923,797 (100.00%)</b>		

### ■市町村別負担金

二戸市	795,237
一戸町	350,302
軽米町	273,492
九戸村	212,746
<b>合計</b>	<b>1,631,777</b>

### 介護保険特別会計



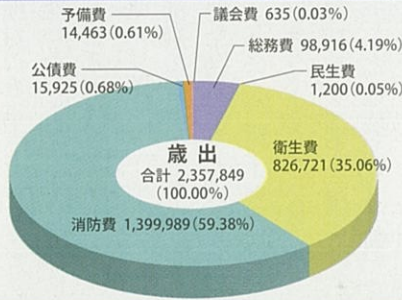
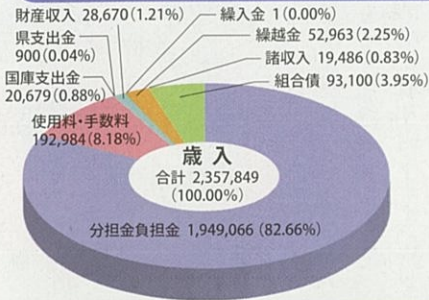
### ■市町村別負担金

二戸市	467,396
一戸町	230,480
軽米町	158,170
九戸村	108,102
<b>合計</b>	<b>964,148</b>

## 25年度補正後予算

(単位：千円、%)

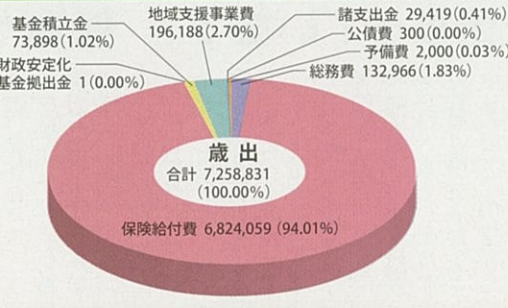
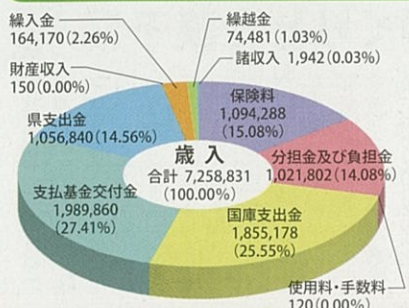
### 一般会計



### ■市町村別負担金

二戸市	941,384
一戸町	407,248
軽米町	370,401
九戸村	230,033
<b>合計</b>	<b>1,949,066</b>

### 介護保険特別会計



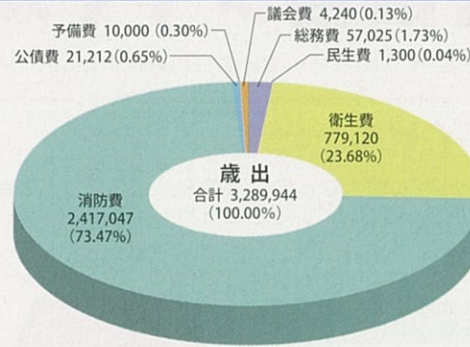
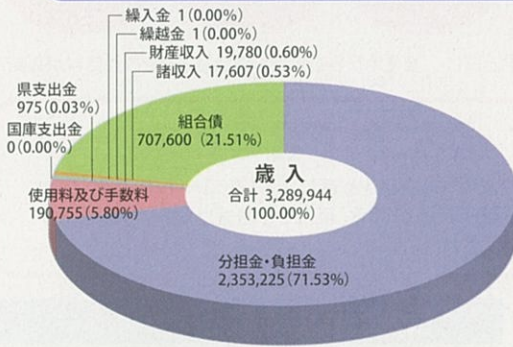
### ■市町村別負担金

二戸市	488,505
一戸町	253,797
軽米町	165,727
九戸村	113,773
<b>合計</b>	<b>1,021,802</b>

## 26年度当初予算

(単位：千円、%)

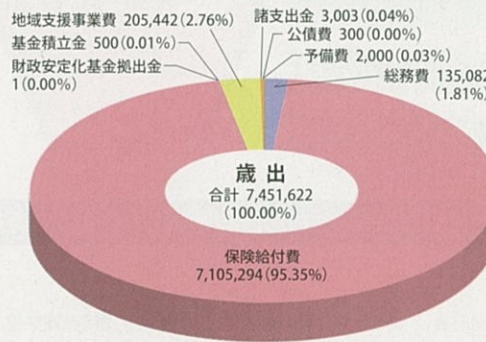
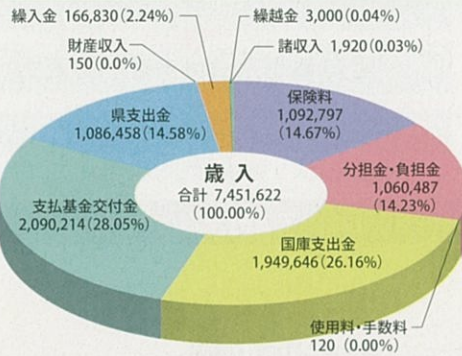
### 一般会計



#### 市町村別負担金

二戸市	1,253,356
一戸町	367,192
軽米町	511,596
九戸村	221,081
合計	2,353,225

### 介護保険特別会計

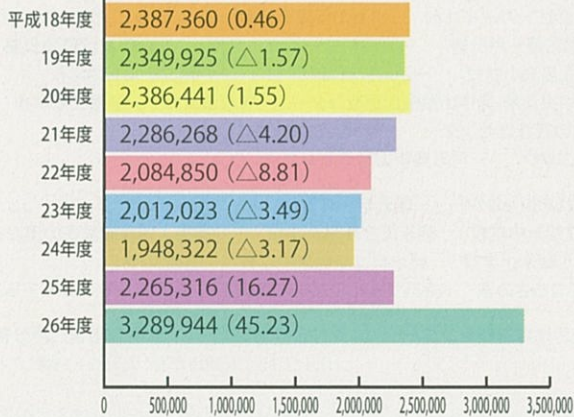


#### 市町村別負担金

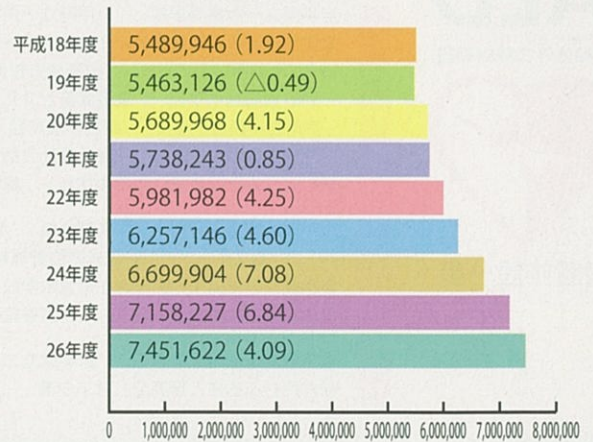
二戸市	507,658
一戸町	263,147
軽米町	171,809
九戸村	117,873
合計	1,060,487

### 当初予算の推移

#### 一般会計 ( )内は前年度対比



#### 介護保険特別会計 ( )内は前年度対比



### 人口と世帯数 — 平成26年2月1日現在 — 広域の人口 59,819 人 (60,708人) / 広域の世帯数 23,630 世帯 (23,633世帯)

市町村	人口	世帯数
二戸市	29,364人 (29,736人)	11,826世帯 (11,805世帯)
一戸町	13,923人 (14,105人)	5,832世帯 (5,806世帯)
軽米町	10,190人 (10,408人)	3,786世帯 (3,817世帯)
九戸村	6,342人 (6,459人)	2,186世帯 (2,205世帯)

( )内は平成25年2月1日現在 (※住民基本台帳法の改正により、数値には外国人住民の登録を含んでいます。)



# 非常時への備え 災害伝言ダイヤル



※伝言録音・再生を行うためのセンター利用料は無料ですが、録音・再生には通常の電話をかける場合と同じく、発信地から被災地の電話番号までの通話料が必要です。

## 災害伝言ダイヤルとは？

災害伝言ダイヤルは、地震や津波、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が繋がりにくいときのための「声の伝言板」です。

## なにができるの？

電話が繋がりにくいときに171をコールすると、メッセージを残すことができ、また、そのメッセージを再生することができます。

伝言を録音する(安否をお知らせする)

171

1

電話番号※(市外局番から)入力

伝言を録音

※被災地の人…自宅/連絡を取りたい被災地の人番号

伝言を再生する(メッセージを聞く)

171

2

電話番号※(市外局番から)入力

再生

※被災地の人…連絡を取りたい被災地の人番号

## 使い方は？

いざというときのために、ふだんから家族で、災害時の連絡方法を話し合っておきましょう。

**AED**  
Automated External Defibrillator  
自動体外式除細動器



設置施設一覧

- 二戸市**
  - 二戸消防署 ● すがわら消化器内科 ● 岩手県立福岡高等学校
  - 菅整形外科皮膚科クリニック ● 二戸広域観光物産センター(なにやーど) ● 岩手県二戸地方振興局
  - 二戸市勤労者総合福祉センター(ワークインにのへ) ● 岩手県立二戸病院 ● 二戸ショッピングセンター ニコア
  - 二戸市国民健康保険金田一診療所 ● 二戸市立金田一中学校 ● 多加良製作所(株) ● 岩手県立東北青少年の家
  - 二戸市立仁左平中学校 ● 二戸市立御返地中学校 ● 関齒科医院 ● 二戸消防署浄法寺分署
  - 二戸市老人福祉センター(海上の湯) ● 岩手県立福岡高等学校浄法寺校 ● 特別養護老人ホーム 浄心園
- 二戸町**
  - 岩手県立一戸高等学校 ● 一戸町立一戸中学校 ● 岩手県立一戸病院耳鼻咽喉科 ● 一戸町総合保健福祉センター
  - 結愛サービス公社介護ステーション ● 一戸ショッピングセンター(イコオ) ● まちの健康相談室(イコオショッピングセンター内)
  - いちのへ内科クリニック ● 田頭鍼灸整骨院 ● 二戸消防署一戸分署 ● 一戸町立一戸南小学校 ● 一戸町総合運動公園
  - 一戸町立鳥越小学校 ● 来田保養センター ● 一戸町立鳥海小学校 ● 一戸町立小鳥谷中学校 ● 一戸町立小鳥谷小学校
  - 一戸町立小鳥谷小学校 ● 新岩手農業協同組合奥中山中央支所 奥中山農業団地センター ● 学校法人カナン学園三愛学舎
  - 一戸町立奥中山中学校 ● 岩手県社会福祉事業団中山の園管理センター ● 一戸町立奥中山小学校
  - 岩手県立みたち養護学校奥中山校 ● 奥中山高原クリニック ● 一戸町奥中山高原センターハウス
- 軽米町**
  - 二戸消防署軽米分署 ● 軽米町役場 ● 軽米町健康ふれあいセンター ● 軽米町民体育館
  - ハートフルスポーツランド軽米町宮野球場 ● 軽米町立軽米中学校 ● 軽米町立軽米小学校 ● 介護老人保健施設花の里かるまい
  - 岩手県立軽米病院 軽米町立笹渡中学校 ● 軽米町立小軽米小学校 ● 軽米町立小軽米中学校 ● 南建設(株)
  - 身体障害者療護施設太陽荘 ● 特別養護老人ホーム かつろぎの家 ● 折爪サービスエリア上り線 ● 折爪サービスエリア下り線
- 九戸村**
  - 岩手県立伊保内高等学校 ● 岩手県立二戸病院附属九戸地域診療センター ● 九戸村保健センター ● 二戸消防署九戸分署
  - (株)九戸村ふるさと振興公社オドテ館 ● 九戸精密(株)

(H24.9.1までに届出があった施設を掲載しています)

## し尿処理収集委託業者

- (有)県北衛生社 ☎0195-23-3091 二戸市(旧福岡町)
- (有)一戸衛生社 ☎0195-32-2560 二戸市(旧金田一村、旧浄法寺町)、一戸町
- (有)軽米清運 ☎0195-46-2450 軽米町、九戸村(江刺家地区)
- (有)軽米清掃社 ☎0195-46-4182 軽米町、九戸村(江刺家地区)
- 九戸衛生社 ☎0195-42-2091 九戸村(江刺家地区除く)

※お盆前と年末には、依頼が集中します。余裕をもってご依頼ください。※便槽の周りにものを置かない、冬期間は除雪するなどのご協力をお願いします。



## 二戸地区広域行政事務組合

〒028-6102 岩手県二戸市下斗米字細越20-1  
TEL 0195-23-7772 FAX 0195-23-7984  
URL <http://www.cassiopeia.or.jp>